

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年07月15日

計画の名称	美濃加茂市の安全な住環境の整備推進計画（防災・安全）											
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	美濃加茂市											
計画の目標	安全・安心、快適なまちづくりと、公共用水域の水質安全を図ります。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	144	A	144	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R3末)
1	下水道による雨水浸水対策の達成率を88.2%（H29）から88.5%（H29）に増加させる。 下水道による雨水浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）	88%	89%	89%
2	雨水ポンプ場施設の更新率を34.2%（H29）から36.2%（H29）に増加させる。 雨水ポンプ場施設の更新率 更新済項目数（箇所） / 更新項目数（箇所）	34%	36%	36%
3	ストックマネジメント策定率を0%（H29）から100%（H30）に増加させる。 ストックマネジメント策定率 ポンプ施設ストックマネジメント箇所数（箇所） / ポンプ施設箇所数（箇所）	0%	100%	100%
4	汚水マンホールポンプ更新率を0%（H30）から20%（R3）に増加させる。 汚水マンホールポンプ更新率 汚水マンホールポンプ更新箇所数（箇所） / 汚水マンホールポンプ箇所数（箇所）	0%	2%	14%
5	古いタイプの雨水マンホール蓋更新率を0%（R2）から73%（R3）に増加させる。 古いタイプの雨水マンホール蓋更新率 古いタイプの雨水マンホール蓋更新箇所数 / 古いタイプの雨水マンホール蓋箇所数（箇所）	0%	0%	73%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-003	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	管渠(雨水)	改築	今泉雨水幹線(浸水対策)	1500×1800、 1400×1400 L=126.5m	美濃加茂市					62	-		
	A07-004	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	-	-	ストックマネジメント事業	調査・計画	美濃加茂市					21	-		
	A07-005	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	管渠(汚水)	改築	汚水マンホールポンプ更新	汚水マンホールポンプ更新	美濃加茂市					54		策定済	
	A07-006	下水道	一般	美濃加茂市	直接	美濃加茂市	管渠(雨水)	改築	雨水マンホール蓋更新	雨水マンホール蓋更新	美濃加茂市					7		策定済	
												小計					144		
												合計					144		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 美濃加茂市建設水道部上下水道課にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和4年7月
	公表の方法 美濃加茂市公式ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水幹線の整備により、下水道による都市浸水対策達成率が89%となり、家屋等の浸水被害の軽減に寄与した。</li> <li>・ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した下水道施設（雨水ポンプ場・汚水マンホールポンプ・雨水マンホール蓋）の計画的な改築更新を実施したことにより、事故の未然防止およびライフサイクルコストの低減につながった。</li> <li>・ストックマネジメント計画を策定したことにより、継続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減につながる改築更新計画等ができた。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後も引き続き、ストックマネジメント計画に基づく既存施設の改築更新を実施し、安全な住環境の整備に努めます。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による雨水浸水対策の達成率を増加させる。	
	最終目標値	89%
2	最終実績値	89%
	雨水ポンプ場施設の更新率を増加させる。	
3	最終目標値	36%
	最終実績値	36%
4	ストックマネジメント計画策定率を増加させる。	
	最終目標値	100%
5	最終実績値	100%
	汚水マンホールポンプ更新率を増加させる。	
6	最終目標値	14%
	最終実績値	11%
7	古いタイプの雨水マンホール蓋更新率を増加させる。	
	最終目標値	73%
8	最終実績値	96%